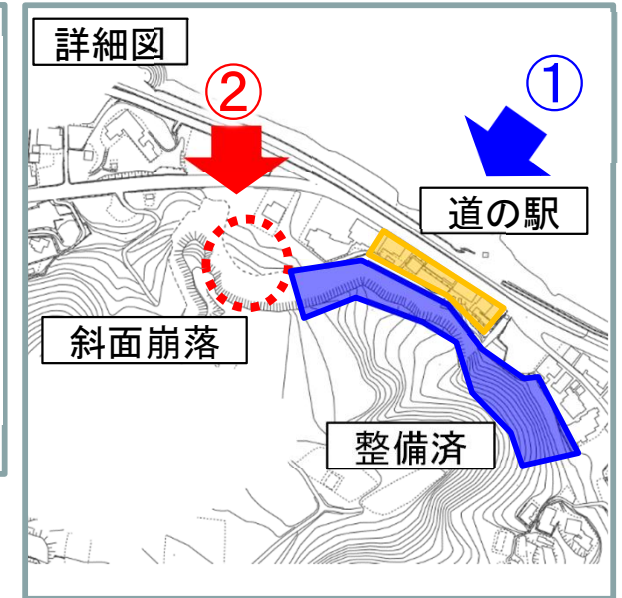
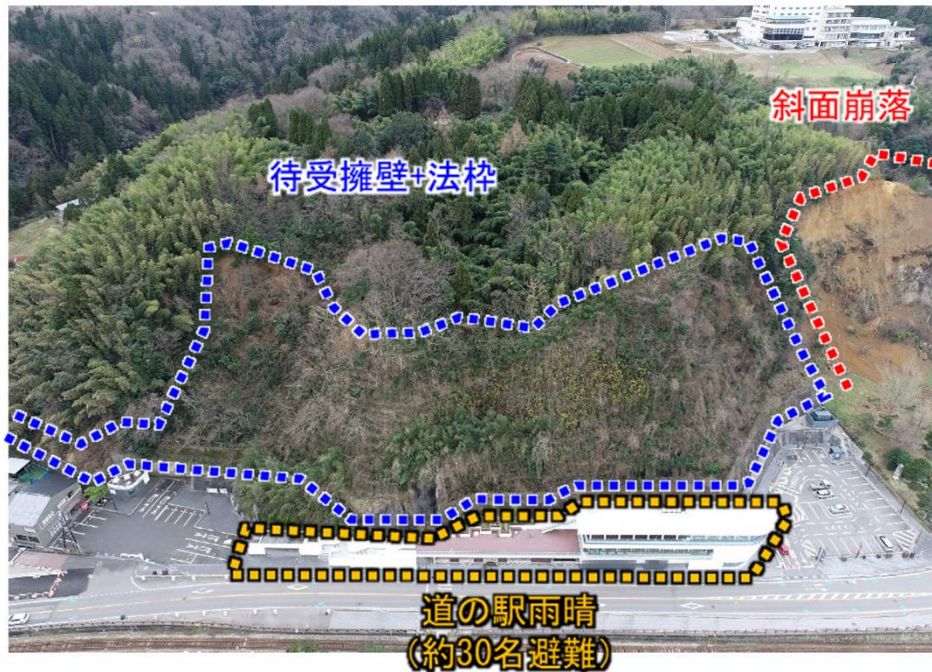


# 【施設効果事例】 雨晴(1)地区 急傾斜地崩壊防止施設

災害発生日：令和6年1月1日  
発生要因：能登半島地震（震度5強）  
※高岡市伏木観測点（気象庁）  
発生箇所：富山県高岡市太田  
状況：1月1日の能登半島地震により、道の駅雨晴（津波の指定緊急避難場所）の隣接斜面が崩落し、1m程度の落石が発生した。一方、法枠工と待受擁壁を整備した道の駅の裏の斜面では、落石は発生しなかった。（津波警報の発表時には、約30名の避難があった。）  
このことから、道の駅等への被害を未然に防止し施設効果を発揮したと考えられる。



①対策済み斜面



②斜面崩壊発生箇所

